

「塩竈市水道事業基本計画」（素案）へのパブリックコメントの結果について

1. 募集期間：令和4年1月17日（月）から2月6日（日）
2. 意見数：4名 18件

NO	ページ	項目	ご意見	意見に対する考え方
1	P 1	第1章 1-1	前基本計画の課題が不明確でなぜ新計画にするかが疑問	新計画は前計画が令和3年度末で終了することから、現在の水道事業を取り巻く環境に合わせた計画に改定し、策定するものです。前計画の課題は、P9からの第3章 3-1にて総括しております。
2	P 2	第1章 1-2	国の新水道ビジョンが分からないので計画の位置づけが分かりにくい	パブリックコメント時には未作成でしたが、「第7章資料」を作成し用語解説をします。その中で国の新水道ビジョンについての説明を記載します。
3	P 5		給水人口の減少と水需要の減少は比例していない（水需要の減少率大）水需要減少には人口以外の他の要因もあるはず	ご意見のとおり、P5の給水人口と水需要のグラフは比例ではないため「比例して減少傾向」の記載を「連動した減少傾向」に記載を修正いたします。また、P5（4）①水需要に水需要の減少要因を記載した下記の文章を追記いたします。 第2章 2-2（4）①水需要 他にも大規模災害、景気の低迷、節水器具の進歩・普及、個人の節水意識の定着、ペットボトル水の需要増加が減少要因として考えられます。
4	P 8	第2章（6）	収支・支出それぞれの構成を出すべき。特に支出は新設・改修の推移は必須	ご意見を踏まえ、P8第2章 2-2（6）収支の状況に以下の文章を追記いたします。 第2章 2-2（6）収支の状況 収入は約9割が水道料金で、他に水道加入金、補助金などで構成されています。支出は人件費、減価償却費、突発的な修繕にかかる維持管理費、一般管理費、受水費などで構成されています。 また、この項目では、収支の状況を説明させていただいております。新設・改修の推移については、塩竈市水道事業経営戦略のP10 4. 投資財源計画（1）資産の現状把握に建設改良費の実績を記載していますのでご覧ください。水道事業経営戦略のホームページのURLは下記のとおりです。 https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/26/13897.html
5	P 8	第2章（7）	水道料金は安価かもしれないが、下水道料金を含めたら高くないか？	本市においては、お客さまに上水道と下水道の料金の請求を一括に行っていますが、今回の水道事業基本計画は上水道の計画であるため、下水道料金には触れておりませんのでご理解ください。
6	P 9	第3章	現状と課題というタイトルであるが、現状と問題点・課題が同列で記載されており整理されていないため、理解できない。目標・現状（問題点）・課題が対応するように図表で整理すべき。課題とは、目標と現状（問題点）のギャップである。	各項目（例えば3-2水需要の動向、3-3水源の状況など）で整理しているため現状と問題点を同列で記載する構成となっています。図表で整理すると文言が短くなり誤解が生じやすいため、今回は文章での表現と致しましたので、ご理解ください。 いただいた意見は今後、考え方として参考にさせていただきます。

NO	ページ	項目	ご意見	意見に対する考え方
7	P11	第3章3-2	給水人口と水量の予測はP5で人口減と水需要減少率が比ではないので正しい予測とは思えない	NO3のご意見に対する考え方と同様になりますが人口と水需要についてのP5の文章を修正・追記します。また、人口との比ではないとしても、グラフは傾向を予測しているものとして妥当なものと考えています。
8	P15	第3章3-8(1)	技術の継承とあるが技術職が少なすぎ、技術職でも事務ができる体制にし増員を。	P28第5章5-3(2)①バランスの取れた年齢構成の職員配置と適正な人員確保の取り組みを記載しております。ご意見のとおり水道事業運営には水道技術の継承が重要でありますので、人材確保の取り組みに努めてまいります。
9	P16	第3章3-8(3)	更新需要の予測は縮減を図った結果なのか、どのくらいの縮減が見込めるのか	更新需要の予測は縮減を図ったものとなります。40年間で約118億円の縮減効果を見込んでおります。詳しくは、塩竈市水道事業経営戦略のP174.投資財源計画(5)新更新基準による効果額に記載しています。水道事業経営戦略のホームページのURLは下記のとおりです。 https://www.city.shiogama.miyagi.jp/soshiki/26/13897.html
10	P17	第3章3-9	広報活動は必要とは思いますが過度の広報活動は不要と思う	お客様に対する広報・広聴は水道に対するご理解、水道サービスを向上させるうえで必要と考えておりますので、今後もお客様サービスに努めてまいります。
11	P19	第4章	目標は、課題よりも先に記載するのが通常である。目標を先に掲げてから、現状(問題点)に対する課題と対応策を記載すべき。	貴重なご意見をいただきましたが、本基本計画では基本事項の課題を整理して積み上げることが必要と考え、先に現状と課題を記載し、後に目標を記載する組み立てとしておりますのでご理解ください。
12	P22	第5章	なぜ目標の章が2つあるのか?1つにまとめて前に持っていきべき。取り組みとあるが、具体的な記述を書かないとわからない。具体策とスケジュールがないので、絵に描いた餅。ロードマップや年次スケジュールを示すこと。直近だと、断水被害があったが、浄水場を2系統にすることや水道管の錆対策など今後の断水対策を具体的に示すこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・「第4章水道事業の将来像と目標」では総論として基本理念と基本目標の説明を行い、続く「第5章3つの基本目標と取り組み」で基本目標に対する各重点施策と取り組みの詳細説明と分けているものです。 ・ロードマップや年次スケジュールは本基本計画では示してはおりませんが、水道事業経営戦略や実施事業計画の事業で取り組むこととしています。断水対策としては、P26第5章5-3(3)危機管理体制の充実に取り組みを記載しております。 ・令和3年2月の断水時にも取水は大倉ダムと七ヶ宿ダムからの2系統を確保しており、断水を回避出来た地域がありました。水道管の錆対策としてはP23第5章5-1(2)④水道施設の適切な維持管理、P25第5章5-2(2)②老朽化施設の改良・更新に取り組みを記載しております。

NO	ページ	項目	ご意見	意見に対する考え方
13	P 23	第5章 5-1 (2) ④	<ul style="list-style-type: none"> ・「修繕をしなければならないこととされました。」を「修繕をしなければなりません。」に変更してはどうでしょうか。 ・「そのためにも、定期的、臨時的な点検を行い、必要に応じた修繕を行うことで、事故リスクの縮減に努めていきます。」を「日ごろから、定期的、計画的な点検を行い、必要に応じた補修、修繕を行うことで、事故リスクの低減(削減)に努めていきます。」に変更してはどうでしょうか ・「定期的な洗管や臨時的な」を「定期的な洗管や計画的な」に変更してはどうでしょうか。 	ご意見をいただきましたが、管路更生工事は計画的なものではなく、現場の状況に合わせた対応となるため「定期的な洗管や臨時的な管路更生工事」を「定期的な洗管や管路の状況に応じた管路更生工事等」に訂正いたします。また、他はご意見のとおり訂正いたします。
14	P 25	第5章 5-2 (1) ①	<ul style="list-style-type: none"> ・「本市では、仙台市の更新方針を受け、様々な案を検討した結果、梅の宮浄水場を更新せず、仙台市と浄水場を共同化することを最適な方向性と位置づけることとしました。」を「本市では、仙台市の更新方針を受け、浄水場の在り方を検討した結果、仙台市と浄水場を共同化することが最適な方向性と位置づけました。」に変更してはどうでしょうか。 ・「今後は、両市による本格的な検討に入っていくことといたします。」を「今後は、共同化に向けた検討を両市で行ってまいります。」に変更してはどうでしょうか。 	ご意見のとおり訂正いたします。
15	P 25, 26		老朽化の更新と耐震化は同時に行うと思うが明示してほしい	管路の更新・改良については耐震管を採用し耐震化を同時に進行することになります。
16	P 28	5-3 (1) ⑥	料金のあり方検討とあるが、値上げ前提としか思えない。経費見直が先ではないか	<p>ご意見を踏まえ、これまで行ってきた経費の見直しについてP16に以下の文章を追記いたします。経費の見直しを行い、管路等の更新費用の見直しを踏まえ、適正な料金のあり方を検討してまいりますのでご理解をお願い致します。</p> <p>第3章 3-8 (2) 事業経営の効率化 これまで、経費の見直しについては、平成25年から料金徴収等関連業務委託、平成27年から梅の宮浄水場運転管理業務委託を行い、人員体制の見直しを実施し経営の効率化を図ってきました。</p>
17	P 29	第5章 5-3 (4) ①	「令和14年度まで毎年 0.25MJ/m ³ 以下」は令和元年度とほぼ同じ数値以下で、現状維持でもいいことになり、目標設定としては低いのではないのでしょうか。0.25MJ/m ³ 「以下」を「未滿」、あるいは「0.24」MJ/m ³ 以下など、目標なので消費エネルギーをさらに下げることをお願いします。	ご意見をいただきましたが、P9第3章 3-1 ⑥に記載しているように、前計画の目標に0.38MJ/m ³ を掲げ令和元年に0.25MJ/m ³ と目標よりもかなり低い数値を達成することができました。現状維持としても低いものであることから、このままの数値設定とさせていただきます。環境対策としての省エネルギーは重要と考えておりますので、引き続き0.25MJ/m ³ 以下となるよう努力してまいります。

NO	ページ	項目	ご意見	意見に対する考え方
18	全般		<p>最近値上げがあらゆるところで聞こえており、コロナ禍においては今後も経営環境が厳しくなると思う。値上げはやむを得ないと思うが、同時に無駄なコストやサービスの省略化、経営の効率化を計ることで必要最小限の値上げにとどめて頂きたいと思う。あと、銀行引き落とし可能な銀行を増やして欲しいし、キャッシュレス、カード払いなどの利便性向上を努力してほしい</p>	<p>No16のご意見に対する考え方と同様ですが、経費の見直しを行い、管路等の更新費用の見通しを踏まえたうえで、水道事業を運営するために適正な料金のあり方を検討してまいりますので、ご理解をお願い致します。なお、料金支払い方法において、キャッシュレス化等一部実施しておりますが、支払い方法の拡大については今後の検討課題とさせていただきます。</p>

※ご意見については、素案の表現と整合する様一部修正させていただいておりますので、ご了承願います